



一般社団法人社会情報学会 (SSI)

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17

三鷹ビジネスパーク SOHO プラザ A-301

Tel /Fax : 0422-54-4633 e-mail : office@ssi.or.jp

社会情報学会 (SSI) 会費等振替口座 (ゆうちょ銀行振替口座)

- ・加入者名 (一社) 社会情報学会
- ・口座番号 00150-4-608268

## 目次

- I 社会情報学会会長挨拶
- II 社会情報学会 2013・2014 年度社員構成・理事構成・監事構成・委員会および支部構成
- III 2012 年度第 5 回一般社団法人社会情報学会理事会議事録 (2013 年 3 月 16 日開催)
- IV 委員会報告
- V 2013 年度社会情報学会 (SSI) 学会大会
- VI 事務局より

## I 社会情報学会会長挨拶

会長挨拶

社会情報学会（SSI）会長  
伊藤 守

社会情報学会（SSI）が発足して1年が経過しました。この間、多くの新会員を迎えることができたことを嬉しく思います。また一方で、一般社団法人として出発したこともあり、さまざまな諸規定の整備や、あらたなルールに基づく学会運営を軌道に乗せることなど、いくつかの課題を解決することも求められています。

昨年に学会が発足した際に「臨時選挙管理内閣」的な位置づけのもと、会長職を仰せつかり、旧「日本社会情報学会」からのスムーズな移行を最優先して理事会を運営してきましたが、今期の選挙の結果、ふたたび会長職を務めることとなりました。会員のみなさまのご理解とご協力のもと、社会情報学の発展の基盤を築くことができよう努力して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

社会情報学の研究を専門とする会員と学会は、現在の社会情報過程が孕む問題や課題を的確に把握し、その解決の方途を、広く社会の構成員に伝え、様々な分野の方々との対話と協同を通じて、よりよき情報社会・ネットワーク社会の構築に寄与することがなにより求められていると思います。

この課題を担うべく、3つのテーマを重点的に進めていきたいと考えます。

第1は、若々しい学問分野である社会情報学を今後牽引する若手研究者が活発に議論し交流できる環境をつくることです。これまでも、前身の「日本社会情報学会」の時代から、若手研究者の活動を意識的にサポートし、若手研究者自身の発案で「若手研究者ワークショップ」や「海外学会発表のためのワークショップ」などが開催されてきました。それを発展させて、さまざまなかたちで支援をおこない、若手研究者の中から斬新なアイデアや発想の下に独創的な研究が生まれる基盤を構築したいと考えます。

第2は、関連する海外の学会ならびに個々の研究者単位での学問的交流を積極的にすすめ、国内外への情報発信を強めることです。すでに「国際交流委員会」を組織し、海外の学会との連携や学会大会の相互乗り入れ、海外の学会大会におけるSSIセッションの開催等の検討をはじめていますが、会員の協力を得ながら、この側面での展開を多角的にすすめていきたいと思います。

第3は、「社会」という名を冠した「情報学」の重要性をアピールすることです。「情報学」といわれる分野は、ともすれば「理系」の学問分野であると思われがちですし、実際、「情報学」の多くの分野は「理系」の「情報科学」「コンピュータ科学」などから成り立っています。しかし、これらの分野から生まれた情報テクノロジーが「社会」の中に定位され、社会過程の重要な一部となった現代社会では、「人文社会系」の発想と知見を加えた「情報学」が重要な位置を占める必要があります。その意味で、近接する他の学会との連携をふくめて、「社会」と「情報学」とつなぐ学問分野の社会的位置をこれまで以上に高めていきたいと考えます。

## II 社会情報学会 2013・2014 年度社員構成・理事構成・監事構成・委員会および支部構成

3月16日土曜日、中央大学駿河台記念館で開催された2012年度第5回理事会において一般社団法人社会情報学会評議員選挙管理委員会桜井成一朗委員長より評議員選挙結果が報告され、2013・2014年度一般社団法人社会情報学会評議員30名が報告された。同時に、理事候補者25名、監事候補者2名が報告された。それらの内会長推薦による理事は10名、監事は1名である。

### 評議員 (30名)

山本佳代子 (電気通信大学)・遠藤 薫 (学習院大学)・伊藤 守 (早稲田大学)・正村俊之 (東北大学)・桜井成一朗 (明治学院大学)・藤井 亨 (株式会社日立製作所)・西垣 通 (東京経済大学)・國領二郎 (慶應義塾大学)・五藤寿樹 (日本橋学館大学)・音 好宏 (上智大学)・田中秀幸 (東京大学)・太田敏澄 (電気通信大学)・木村忠正 (東京大学)・黒葛裕之 (関西大学)・伊藤賢一 (群馬大学)・北村順生 (新潟大学)・大國充彦 (札幌学院大学)・橋元良明 (東京大学)・加藤清明 (中京大学)・是永 論 (立教大学)・服部 哲 (神奈川工科大学)・和泉 潤 (名古屋産業大学)・福田 豊 (電気通信大学)・廣松毅 (情報セキュリティ大学院大学)・森谷 健 (群馬大学)・河又貴洋 (長崎県立大学)・岩井 淳 (群馬大学)・清原聖子 (明治大学)・小豆川裕子 (株式会社NTTデータ経営研究所)・後藤玲子 (茨城大学人文学部)

### 理事候補 (25名)

和泉 潤 (名古屋産業大学)・伊藤 守 (早稲田大学)・今田寛典 (広島文化学園大学)・岩井 淳 (群馬大学)・遠藤 薫 (学習院大学)・大國充彦 (札幌学院大学)・太田敏澄 (電気通信大学)・岡田 勇 (創価大学)・河又貴洋 (長崎県立大)・北村順生 (新潟大学)・金 相美 (名古屋大学)・木村忠正 (東京大学)・國領二郎 (慶應義塾大学)・五藤寿樹 (日本橋学館大学)・後藤玲子 (茨城大学)・桜井成一朗 (明治学院大学)・田中秀幸 (東京大学)・富山慶典 (群馬大学)・新川達郎 (同志社大学)・西垣 通 (東京経済大学)・橋元良明 (東京大学)・正村俊之 (東北大学)・安田孝美 (名古屋大学)・山口いつ子 (東京大学)・山本佳世子 (電気通信大学)

### 監事候補 (2名)

黒葛裕之 (関西大学)・藤井史朗 (静岡大学)

### 支部長候補

北海道支部長：大國充彦 ・ 東北支部長：北村順生 ・ 関東支部長：岡田 勇  
中部支部長：安田孝美 ・ 関西支部長：新川達郎 ・ 中国四国支部長：今田寛典  
九州沖縄支部長：河又貴洋

### Ⅲ 2012年度第5回一般社団法人社会情報学会理事会議事録（2013年3月16日開催）

1. 開催年月日及び時刻 2013年3月16日（土）、15:00～18:30
2. 開催場所 中央大学駿河台記念館 650室
3. 出席理事 伊藤賢一・伊藤守・遠藤薫・太田敏澄・河又貴洋・木村忠正・黒葛裕之・五藤寿樹・是永論・桜井成一朗・田中秀幸・廣松毅・正村俊之・吉田寛
4. 欠席理事 和泉潤・小郷直言・栗川隆宏・炭谷晃男・高田洋・富山慶典・西垣通・横山正人
5. 出席監事 藤井史朗
6. 欠席監事 水鉋揚四郎
7. 事務局出席 今田寛典・和泉恵子

#### 8. 審議事項

- 第1号議案 入会
- 第2号議案 選挙
- 第3号議案 定款変更
- 第4号議案 2012年度事業報告案
- 第5号議案 2012年度収支報告案
- 第6号議案 2013年度事業計画案
- 第7号議案 2013年度収支予算案
- 第8号議案 2013年度社員総会
- 第9号議案 研究倫理綱領
- 第10号議案 個人情報保護に関する規則
- 第11号議案 その他

#### 9. 報告事項・その他

1. 2012年度第4回理事会議事録
2. 2012年度会員状況・会費納入状況
3. 2012年度学会大会報告
4. スケジュール案
5. その他

#### 開会（16時30分）

事務局長が理事総数22名中14名の出席により定款第46条に定める定足数を満たしているので理事会が成立していることを確認した。議長は定款45条に定める伊藤守代表理事。書記は事務局今田。事務局長および議事提案者による議案の内容についてそれぞれの説明があった。

##### 1 審議事項

##### 議事概要

- 1) まず、2012年度第4回理事会議事録の承認が求められ、理事会終了前に承認された。
- 2) 役員選挙管理委員会より一般社団法人社会情報学会2013・2014年度第1期役員選挙による15名と推薦による10名の理事候補、及び2名の監事候補が報告された。投票数は97名であったことが報告された。

##### 理事候補（選挙）

伊藤賢一・伊藤守・遠藤薫・太田敏澄・岡田勇・木村忠正・國領二郎・五藤寿樹・後藤玲子・桜井成一朗・田中秀幸・富山慶典・西垣通・橋元良明・正村俊之・安田孝美

##### 理事候補（推薦）

和泉潤・今田寛典・岩井淳・大國充彦・河又貴洋・北村順生・金相美・新川達郎・山口いつ子・山本佳代子

##### 監事候補（選挙）

黒葛裕之  
監事候補（推薦）

藤井史朗

同委員会より、次回の役員選挙について検討する必要があることが提議され、選挙制度特別委員会設置が承認された。

3) 評議員選挙管理委員会より評議員選挙の当選者について報告があった。投票数は 97 名で会ったことが報告された。

山本加代子、遠藤薫、伊藤守、正村俊之、桜井成一朗、藤井亨、西垣通、國領二郎、五藤寿樹、音好宏、田中秀幸、太田敏澄、木村忠正、黒葛裕之、伊藤賢一、北村順生、大國充彦、橋元良明、加藤晴明、是永論、服部哲、和泉潤、福田豊、廣松毅、森谷健、河又貴洋、岩井淳、清原聖子、小豆川裕子、後藤玲子（30 名）

4) 事務局より、1 名の入会が提議された。1 名の入会が承認された。

5) 総務委員会より定款の一部の変更が提議され、承認された。

新	旧
第 1 条 2 項（学会の英語名称）	第 1 条 2 項（学会の英語名称）
The Society of Socio-Informatics	The Society for Socio-Informatics

6) 総務委員会 2012 年度の事業報告が報告された。5 回の委員会開催と事業内容が報告された。

7) 研究活動委員会より 2012 年度事業報告が報告された。①定例研究専門委員会、②情報通信政策専門委員会、③若手企画専門委員会、④公募型研究会概要が報告された。

8) 学会誌編集委員会より 2012 年度の事業報告が報告された。6 回の委員会開催と事業内容が報告された。事業としては、①学術論文の募集・査読、②和雑誌『社会情報学』年 3 回発行、英文誌"Journal of Socio-Informatics"年 1 回発行、③学会誌刊行に関わる諸規則・諸規定の策定、④その他である。

9) 表彰委員会より 2012 年度の事業報告が報告された。2 回の委員会開催と事業内容が報告された。事業としては、学会賞に関する表彰規定策定、募集、選考を行った。学会賞の表彰式を行った。

10) 国際委員会より 2012 年度の事業報告が報告された。1 回の委員会開催と事業の概要が報告された。事業については、①国際会議共催、②国際連携活動、③対外認知拡大活動、④英文ホームページである。

11) 渉外委員会より 2012 年度の事業報告が報告された。3 回の委員会開催と事業内容が報告された。①国際社会会議に対する広報活動、②横幹科学技術連合第 4 回シンポジウム参加、③SSI 九州・沖縄支部が共催シンポジウム開催、④社会学系コンソーシアム・シンポジウムに参加、⑤JCEA への CFP 承認、⑥2013 年度名古屋大学で開催される国際会議への CFP 承認である。

12) 未来委員会より 2012 年度事業報告が報告された。2 回の委員会が開催された。1 回は skype で実施。

13) ネットワーク委員会より 2012 年度の事業報告が報告された。3 回の委員会開催と事業内容がされた。学会ホームページの情報更新および Facebook 上への情報公開がされた。

14) 各支部から 2012 年度支部授業の報告がされた。

15) 事務局より一般社団法人社会情報学会 2012 年度収支中間状況（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 15 日）が報告され、承認された。

収入の部

収入合計 7,000,557 円（収入合計 7,006,723 円、前期繰越収支差額-6,166 円）

支出の部

支出合計 6,102,239 円

収支差額

次期繰越収支差額 898,318 円（支出差額 904,484 円）

16) 各委員会より、2013 年度の事業計画が資料に基づいて報告された。

総務委員会 委員長：遠藤 薫（学習院大学）

研究活動委員会 委員長：正村俊之（東北大学）、副委員長：田中秀幸（東京大学）

学会誌編集委員会 委員長：橋元良明（東京大学）

表彰委員会 委員長：大田敏澄（電気通信大学）

国際委員会 委員長：木村忠正（東京大学）、副委員長：遠藤 薫（学習院大学）

将来委員会 委員長：桜井成一郎（明治学院大学）、副委員長：伊藤賢一（群馬大学）、吉田寛（静岡大学）

ネットワーク委員会 委員長：五藤寿樹（日本橋学館大学）

北海道支部 支部長：大國光彦（札幌学院大学）

東北支部 支部長：北村順生（新潟大学）

中部支部 支部長：安田孝美（名古屋大学）

中国支部 支部長：今田寛典（広島文化学園大学）

九州・沖縄支部 支部長：河又貴洋（長崎県立シーボルト大学）

- 17) 事務局より一般社団法人社会情報学会 2013 年度予算案が提議された。一部継続審議となった。

収入の部：7,305,000 円

支出の部：6,805,000 円

次期繰越収支差額：200,000 円（当期収支差額：-300,000 円）

- 18) 事務局より 2013 年社員総会の日程が提議され、承認された。

6 月 8 日土曜日、中央大学駿河台記念館で開催する。

当日は、旧理事会 11 時 15 分から 11 時 45 分

社員総会 11 時 45 分から 12 時 15 分

新理事会 12 時 15 分から 13 時 45 分

シンポジウム 1 13 時 45 分から 15 時 45 分

シンポジウム 2 16 時から 18 時

以上の会合がある。シンポジウム終了後、懇親会を開催する。

- 19) 総務委員会より、一般社団法人社会情報学会研究倫理綱領（案）が提議され、議決された。

- 20) 総務委員会より、一般社団法人社会情報学会個人情報保護に関する規則が提議され、一部修正後議決された。

## 2 報告事項

- 1) 事務局より会員状況（2013 年 3 月 15 日現在）が報告された。

会員数：679 名（団体 10、個人会員：618、学生会員：51）

- 2) 事務局より退会者について報告された。

退会者：14 名

- 3) 2012 年社会情報学会研究大会実行委員長より実施報告書が提示され、説明があった。

実行委員長：森谷 健（群馬大学）

参加者：195 名

収入合計：1,624,621 円（支援金 285,111 円を含む）

支出合計：1,624,621 円

- 4) スケジュール案

資料に基づき、事務局よりスケジュール案が報告された。

- 5) その他

2013 年度社員総会は、6 月 8 日に開催される。

次回の理事会は 6 月 8 日中央大学駿河台記念館で開催される。

議 長 伊藤 守 印

議事録署名人 遠藤 薫 印

議事録署名人 廣松 毅 印

議事録署名人 藤井 史朗 印

## IV 委員会報告

### IV-1 総務委員会

#### 1. 概要

定款第 60 条に基づき、本学会の事業に関する事業計画および収支予算の立案・執行を行い、事業報告書および収支決算書の作成を行う。

#### 2. 委員長

廣松 毅（情報セキュリティ大学大学院）

#### 3. 委員

黒葛裕之（関西大学）・後藤寿樹（日本橋学館大学）・佐藤佳弘（武蔵野大学）・今田寛典（広島文化学園大学）・和泉恵子（事務局）

#### 4. 委員会

5 回の委員会を開催

#### 5. 事業報告

①理事会業務に関する企画・立案事項、②学会ニュース発行、③その他本学会の目的を達成するため、必要と認めた事業

### IV-2 研究活動委員会

#### 1. 概要

委員会は主に次の業務を担当する。①専門委員会を設置して全国レベルの研究会を企画・開催。②大会企画委員会と大会実行委員会の業務を支援。

#### 2. 委員長・副委員長

正村俊之（東北大学）・田中秀幸（東京大学）

#### 3. 委員

定例研究会専門委員会理論系

是永論（立教大学）・高橋徹（中央大学）・新川達郎（同志社大学）・岩井淳（群馬大学）

定例研究会専門委員会実証系

橋元良明（東京大学）・関谷直也（東洋大学）・税所哲郎（群馬大学）・榊俊吾（東京工科大学）

情報政策研究会専門委員会

音好弘（上智大学）・岡本剛和（東京大学）・野田哲夫（島根大学）・後藤省二（三鷹市）

若手企画専門委員会

服部哲（神奈川工科大学）・柴田邦臣（大妻女子大学）・嶋崎真仁（秋田県立大学）・小笠原盛浩（関西大学）

大会企画担当その他

正村俊之・田中秀幸・山本佳代子・吉田寛（静岡大学）

#### 4. 委員会

1 回目の委員会を 2012 年 5 月 2 日に開催。その後は随時メール審議。

#### 5. 事業報告

研究報告会

##### ①定例研究会専門委員会

2 回の定例研究会を開催

##### ②情報通信政策専門委員会

2 回の情報政策研究会を開催

##### ③若手企画専門委員会

プレカンファレンス、英語ワークショップ、特別企画「失われつつあるコミュニティに、社会情報学は何かができるか？一次世代型社会情報学プロジェクトの挑戦」、パソコン教室等を実施

#### ④公募型研究会

2回の公募型研究会を開催

### IV-3 学会誌編集委員会

#### 1. 概要

本学会の事業に関する学会誌の企画・編集・発行を行う。

#### 2. 委員

委員長：遠藤 薫、副委員長：桜井成一朗・是永 論

委員：山本佳代子・北村順生・岡田安功（静岡大学）・五藤寿樹・橋元良明・岩井 淳・岡田 勇・伊藤賢一・野田哲夫・服部 哲・吉田 純（京都大学）・田中秀幸・金 相美

#### 3. 委員会

6回の委員会を開催。

#### 4. 事業報告

①学術論文の募集・査読、②和雑誌「社会情報学」年3回、英文誌「Journal of Socio-Informatics」年1回発行。③学会誌に関わる諸規則・諸規定の策定、④その他本学会の目的を達成するため、必要と認めた事業

### IV-4 表彰委員会

#### 1. 概要

社会情報学に関し、優れた研究や社会に対する顕著な貢献を称え、表彰を通じ、社会情報学の発展を図る。特に、「若手を育てること、社会との接点、世界に開かれた研究を重視する立場から賞を設ける」という学会賞の理念に基づき、表彰起草区の策定を行い、選考を行い、表彰の運用を行った。

#### 2. 委員

委員長：太田敏澄

委員：有馬昌宏（兵庫県立大学）・伊藤賢一・遠藤 薫・西垣 通・横山正人

#### 3. 委員会

2回の委員会を開催

#### 4. 事業報告

①学会賞に関する表彰規定の策定、募集・選考を行った。②表彰式を行った。

### IV-5 国際委員会

#### 1. 概要

本委員会は、学会および学会員の国際的活動、交流を促進することを目的とする。具体的なイベント、会議、WSの共催などを行う。

#### 2. 委員

委員長：木村忠正・副委員長：遠藤 薫

委員：太田敏澄・岡田勇・金相美・寺野隆雄（東京工業大学）、横井茂樹（名古屋大学）

#### 3. 委員会

1回の委員会を開催。国際委員会のメーリングリストを開設し、必要に応じて報告・審議を実施。

#### 4. 事業報告

①国際会議共催（9月4～7日、台北・国立大学で開催された4th World Congress on Social SimulationにおけるWorkshop on Social Media and Simulation in Social Informationを共催）

②国際連携活動

③社会情報学会の対外認知拡大活動

英文誌を用いた活動

④英文ホームページの立ち上げと維持補修

#### IV-4 渉外委員会

##### 1. 委員

委員長：遠藤 薫

委員：河又貴洋・木村忠正・桜井成一郎・炭谷晃男（大妻女子大学）・田中秀幸・廣松 毅・福田 豊・正村俊之・吉田 寛・平田和久（）

##### 2. 委員会

3回の委員会を開催

##### 3. 事業報告

①国際社会学会議に対する広報活動、②横幹科学技術連合第4回シンポジウムに参加、③SSI九州・沖縄支部シンポジウムを共催、④社会学系コンソーシアムに参加、⑤JCEA への CFP 承認、⑥2013 年度名古屋大学で開催される国際が異議への CFP 承認

#### IV-5 将来委員会

##### 1. 概要

社会情報学および社会情報学会の将来像について検討する。

##### 2. 委員

委員長：桜井成一郎、副委員長：伊藤賢一・吉田 寛

委員：岩井 淳・小笠原盛浩・岡田 勇・桜井成一郎・柴田邦臣・杉山あかし（九州大学）・山本佳代子

##### 4. 委員会

2回の委員会が開催。内、1回は skype で実施。

##### 5. 事業報告

社会情報学および社会情報学会の将来像について、各委員の意見徴収を行った。

#### IV-6 ネットワーク委員会

##### 1. 概要

①ホームページの企画、運営、管理、②メール（メーリングリスト等を含む）の企画、運営、管理

##### 2. 委員

委員長：五藤寿樹、副委員長：安田孝美

委員：柴田邦臣・服部 哲・伊藤賢一・岡田 勇・佐藤佳弘・吉田 寛・桜井成一郎

##### 3. 委員会

3回の委員会を開催

##### 4. 事業報告

学会ホームページの情報更新および Facebook 上への情報公開を行った

#### IV-7 支部報告

##### 北海道支部

##### 1. 概要

北海道支部研究会を行った

##### 2. 支部

支部長：高田 洋（札幌学院大学）

##### 3. 事業報告

2012 年度社会情報学会北海道支部研究会開催

## 東北支部

### 1. 概要

新潟を含む東北地方において社会情報学に関する研究会を開催し、会員の学術的交流を深めることを目的とする。

### 2. 支部

支部長：正村俊之、副支部長：北村順生

### 3. 事業報告

東北支部研究会を開催。

## 中部支部

### 1. 概要

SSI 設立に伴い JASI 中部支部を基に新しく SSI 中部支部として発足させることとなった。JSIS 中部市会員および旧 JASI 中部支部会員の有志が幹事会を構成し、準備を進め、25 年 3 月 15 日に SSI 中部支部の総会を開催した。25 年 4 月 20 日に 25 年度の総会を開催して活動をする予定である。

### 2. 支部

支部長：和泉 潤

支部委員：中村 保（中部学院大学）・小川明子（愛知淑徳大学）・加藤春明・後藤昌人（金城学院大学）・佐藤哲也（静岡大学）・浦田真由（名古屋大学）・横井茂樹

### 3. 運営委員会

2 回の幹事会開催

### 4. 事業

①24 年度総会、②講演会

## 中国四国支部

### 1. 概要

社会情報学の法人事業を円滑に運営するために支部が置かれている。学会活動を支部の側面から支援する

### 2. 支部

支部長：栗川隆宏（広島文化学園大学）

支部委員：時津啓（広島文化学園大学）・鶴岡和数（広島文化学園大学）・今田寛典

### 3. 支部委員会

1 回の支部委員会を開催

## 九州・沖縄支部

### 1. 支部

支部長；河又貴洋

### 2. 事業

2 回の事業を開催

## V 2013 年度事業計画

各委員会より、2013 年度の事業計画が資料に基づいて報告された。

### V-1 総務委員会

委員長：遠藤 薫（学習院大学）

事業：①理事会業務に関する企画・立案事項

②学会ニュース刊行

③その他本学会の目的を達成するため、必要と認めた事業

## V-2 研究活動委員会

委員長：正村俊之（東北大学、副委員長：田中秀幸（東京大学）

事業：①研究会の開催

②2013 年度社員総会シンポジウム企画

## V-3 学会誌編集委員会

委員長：橋元良明（東京大学）

事業 ①学術論文の募集・査読

②和文雑誌「社会情報学」年 3 回、英文誌「Journal of Socio-Informatics」年 1 回

③学会誌刊行に関わる諸規則・諸規定の策定

④その他本学会の目的を達成するため、必要と認めた事業

## V-4 表彰委員会

委員長：大田敏澄（電気通信大学）

事業：①学会功労賞、社会貢献賞、国際貢献賞、優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞、大学院学位論文賞、同奨励賞、研究発表優秀賞の選考を行う。

②学会賞に関する規定、規則等の整備を行う。

## V-5 国際委員会

委員長：木村忠正（東京大学）、副委員長：遠藤 薫（学習院大学）

事業：①海外の社会情報学、情報ネットワーク研究、メディア研究に関連した学会におけるシンポジウム、国際会議、ワークショップなどで連携

②海外の研究プロジェクトに対する SSI としての参画

③他の国際学会・会議について協賛・共催を積極的に推進する

④他の国際学会・会議において SSI を代表した形での講演、ワークショップ、パネルなどの企画立案、支援

⑤国際会議開催、海外の研究者招聘事業などの各種公募に対する、SSI としての企画立案応募

⑥研究者の国際学会発表などを支援するプログラムとの連携

⑦本学会英文誌（Journal of Socio-Informatics）を、社会情報学関係における海外の主要な研究機関・教育機関に献本し、英文誌、学会の対外的認知を高め、研究者のつながり形成を促進

⑧SSI と関連する国際学会・会議などの日程についての情報収集と提供

⑨SSI 英語 HP のアップデート

## V-6 将来委員会

委員長：桜井成一朗、副委員長：伊藤賢一（群馬大学）、吉田寛（静岡大学）

事業：ワークショップを開催し、広く会員の意見を聴取する機会を設けるとともに、委員会報告をまとめる。

## V-7 ネットワーク委員会

委員長：五藤寿樹（日本橋学館大学）

事業：①学会ホームページの情報更新および Facebook 上への情報公開

②メール（メーリングリスト等を含む）環境の充実

③学会大会等の支援

## V-8 支部

北海道支部 支部長：大國光彦（札幌学院大学）

支部研究会の開催

東北支部 支部長：北村順生（新潟大学）

支部研究会の開催（2回開催を予定）

中部支部 支部長：安田孝美（名古屋大学）

支部総会、研究交流会、講演会を計画

中国支部 支部長：今田寛典（広島文化学園大学）

幹事会開催、セミナーを予定

九州・沖縄支部 支部長：河又貴洋（長崎県立シーボルト大学）

①支部総会、講演会を開催

②公募型研究発表会の開催

## VI 2012年社会情報学会（SSI）研究大会実施報告

報告者：大会実行委員長 森谷 健（群馬大学）

開催日：2012年9月14日（金）・15日（土）・16日（日）

会場：群馬大学荒巻キャンパス

後援：国立大学法人群馬大学

大会委員

大会企画委員会

委員長：廣松 毅

委員：伊藤 守・岩井 淳・遠藤 薫・太田敏澄・小笠原盛浩・岡田 勇・五藤寿樹・是永 論・桜井成一朗・田中秀幸・服部哲・平田知久・正村俊之・毛利嘉孝・山本佳代子・吉田 寛

大会実行委員会（群馬大学）

委員長森谷 健

委員：青木繁伸・石川真一・伊藤賢一・大野富彦・落合延高・小竹裕人・税所哲郎・佐藤一広・砂川裕一・富山慶典・細野文雄・山内春光

特別講演・シンポジウム・ワークショップ・若手カンファレンス・自由報告の概要

特別講演（9月15日） 世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業群」について

基調シンポジウム（実証系）（9月14日）

基調シンポジウム（理論系）（9月15日）

ワークショップ

WS1 恋愛ドラマ等に見るケータイのメディア表象（9月16日）

WS2 東日本大震災における情報行動・消費行動と不安・安心意識（9月14日）

WS3 気仙沼のいま：情報の共有と長期的支援について考える（9月15日）

WS4 Adoption of Social Networking（若手英語ワークショップ）（9月16日）

WS5 ゲーム依存症の対策を考える（9月16日）

WS6 現代社会におけるスクリーン・メディアの受容（9月14日）

若手カンファレンス「研究活動支援ツールとしての SNS：利活用のための理解と可能性の検討（9月14日）

自由報告

セッション1（9月14日）：17報告

セッション2（9月15日）：20報告

セッション 3 (9月16日) : 17 報告

セッション 4 (9月16日) : 11 報告

参加者等

参加者総数 195 名

内訳 正会員 121 名、 学生会員 31 名、 非会員 8 名、 学生非会員 28 名  
一般市民 7 名

会計報告

収入合計 1,624,621 円 支出合計 1,624,621 円 収支合計 0 円

大会開催に対する支援

群馬大学の後援を得た。会場使用料全額が免除された。

群馬大学社会情報学部同総会からの財政的支援を受けた。

懇親会

キャンパス内の学生食堂で開催。77名の参加者。

## VII 2013 年社会情報学会 (SSI) 大会

2013 年度の学会研究大会は、9月13日(金)～15日(日)、早稲田大学で開催します。

多くの会員からの研究投稿、大会参加を期待しています。

知り合いの方が、研究投稿される場合には、早めの学会入会手続きをお勧めください。

発表申込み〆切は6月15日(土)まで。詳細は以下の大会HP ご参照ください。

<http://www.ssi.or.jp/taikai/2013/>

## VIII 事務局より

### VIII-1 会員状況

3月15日現在、会員総数 686 名

名誉会員 7 名、個人会員 618 名、学生会員 51 名、団体会員 10 団体

### VIII-2 会費納入状況 (納入率)

個人会員 96.3%

学生会員 94.1%

団体会員 100%

### VIII-3 会員入会 (2012 年 12 月 16 日～2013 年 3 月 15 日)

1 名が入会。

### VIII-4 一般社団法人社会情報学会 2012 年度収支中間状況

2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 15 日 (単位: 円)

収入の部 7,00,557 円

	実績	予算額
会費収入		
正会員	5,815,000	5,440,000
学生会員	300,000	610,000
団体会員	650,000	650,000
賛助会員	0	0
事業収入	0	0

寄付金収入	196,403	6166
雑収入		
受取利息	102	
その他雑収入	44,081	300,000
所得税預り金	1,137	
当期収入合計 A	7,006,723	7,006,166
前期繰越収支差額	-6,166	-6,166
収入合計 B	7,000,557	7,000,000

支出の部 6,102,239 円

	実績	予算額
事業費		
学会誌発行費（和文・英文）	1,377,121	1,620,000
学会賞	170,385	250,000
委員会運営費	1,113,000	1,298,000
学会大会補助費	88,000	100,000
管理費		
会議費	125,527	50,000
理事会旅費交通費	317,000	600,000
運搬通信費	280,357	300,000
印刷費	0	200,000
消耗品費	234,830	200,000
事務局賃貸料	365,466	408,000
事務委託費	1,620,000	1,620,000
雑費	57,878	200,000
選挙費用	331,871	100,000
未払い法人税等	22,796	70,000
予備費		
予備費支出	0	120,000
当期支出合計 C	6,102,239	7,136,000
当期収支差額 A-C	904,484	-129,834
次期繰越収支差額	898,318	-136,000

次年度繰越金

郵便局振替口座	三井住友銀行	郵便局総合口座	現金	合計
303,000	297,788	231,145	65,248	897,181

#### VIII-5 一般社団法人社会情報学会 2013 年度予算案

事務局より一般社団法人社会情報学会 2013 年度予算案が提議された。一部継続審議となった。

収入の部：7,305,000 円

支出の部：6,805,000 円

次期繰越収支差額：200,000 円（当期収支差額：-300,000 円）

#### **VIII-6 2013年社員総会**

6月8日土曜日、中央大学駿河台記念館で開催する。

当日は、旧理事会 11時15分から11時45分

社員総会 11時45分から12時15分

新理事会 12時15分から13時45分

シンポジウム1 13時45分から15時45分

シンポジウム2 16時から18時

以上の会合がある。シンポジウム終了後、懇親会を開催する。

#### **VIII-7 献本**

『情動の権力——メディアと共振する身体』伊藤守著（せりか書房）